

厚労科研 辻井班(発達研修開発)

4) 2-3. 児童期:

発達性協調運動症・協調運動面への支援

長崎大学生命医科学域

長崎大学子ども心の医療・教育センター

岩永竜一郎

発達性協調運動症(DCD)は様々な問題と関係している

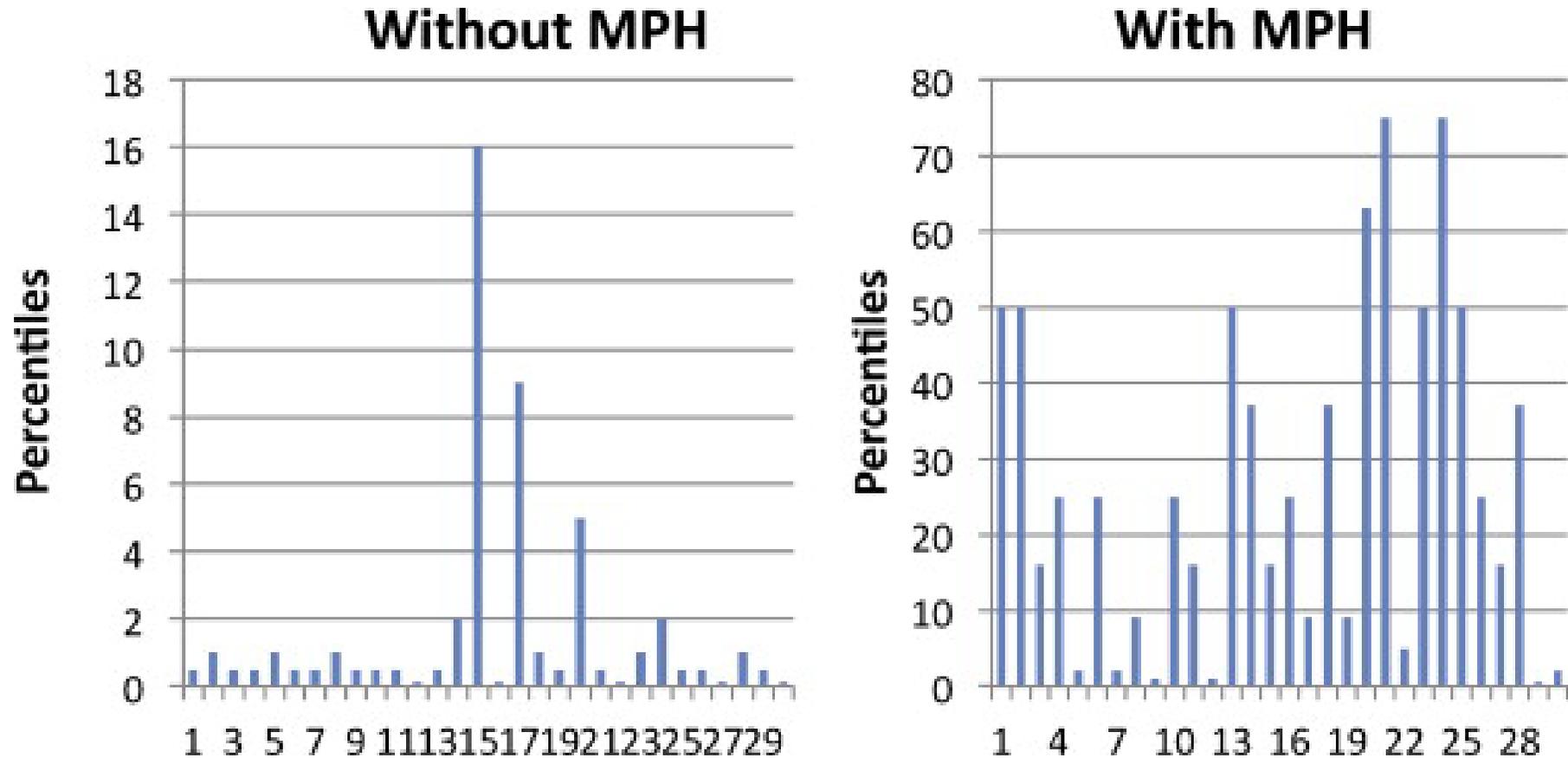
- DCD児は自己概念が低く友人関係も苦手になりやすい (Cocks et al. 2009)
- 学齢期の運動機能の問題は学校でのQOLと関係 (Raz-Silbiger et al., 2015)
- DCDの若者は社会参加、QOL、生活満足度が低値 (Tal-Saban et al., 2014)
- DCD児は抑うつ傾向が見られやすい(Lingam et al., 2012)

他の発達障害との併存

- ADHD児の55.2%に発達性協調運動症
(Watemberg et al. 2007)
- ASD児の79%に明らかな運動面の問題 (5パーセンタイル以下)、10%に境界級の問題 (15パーセンタイル以下)
(Green et al, 2009)

治療・介入

メチルフェニデート(コンサータ)が協調運動に効果あり



ADHDとDCDの両方がある子どもはメチルフェニデート投与時が非投与時に比べM-ABC2のスコアが有意に改善($p < 0.001$).

Bart O, Daniel L, Dan O, Bar-Haim Y.: Influence of methylphenidate on motor performance and attention in children with developmental coordination disorder and attention deficit hyperactive disorder. Res Dev Disabil. 34(6):1922-7. 2013

感覚統合療法



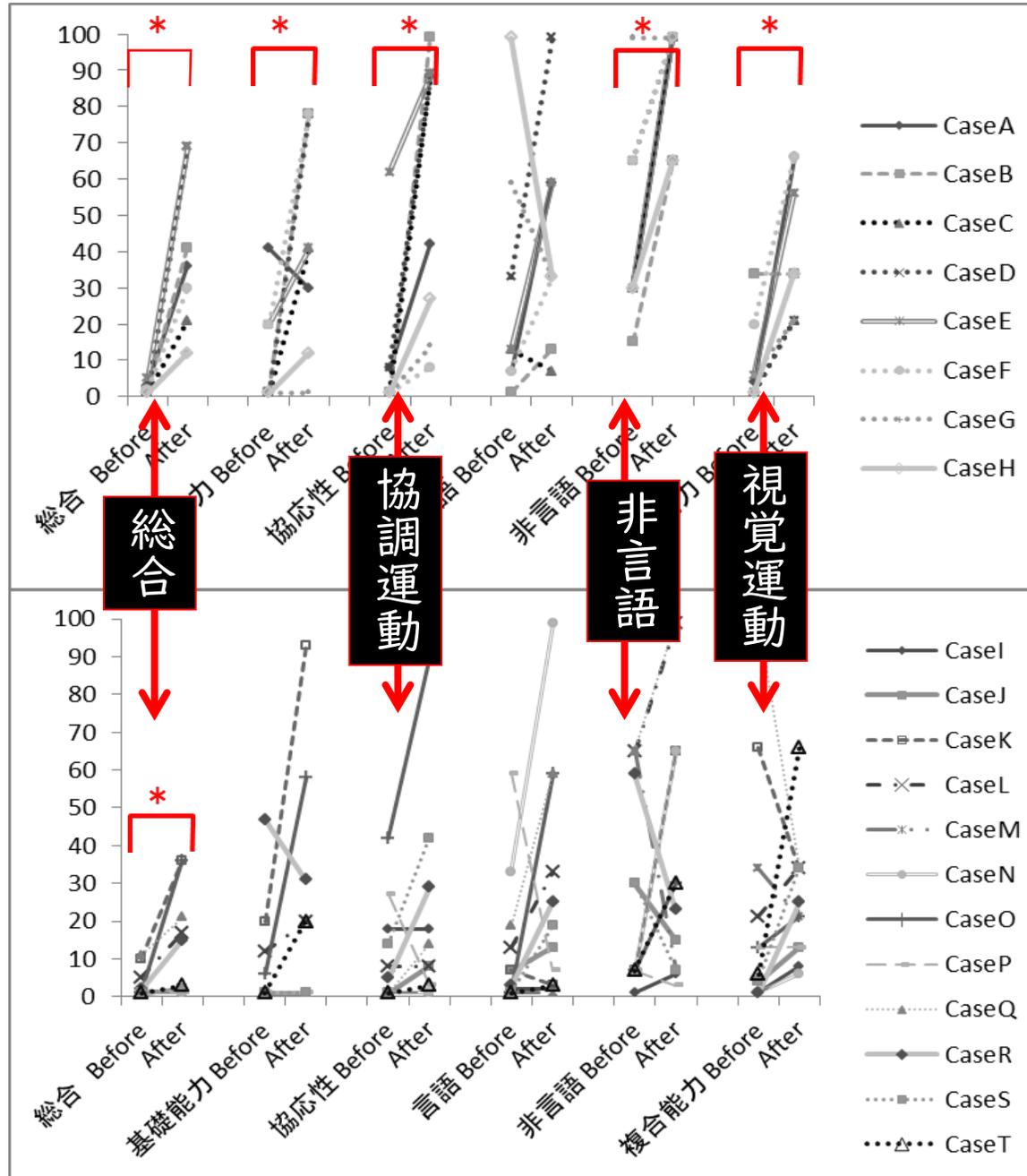
感覚統合療法

(高機能ASD児=8名)



集団療育

(高機能ASD児12名)



Iwanaga et al.: Pilot study: Efficacy of sensory-integration therapy for Japanese children with high-functioning autism spectrum disorder. Occupational Therapy International. 2014

DCDへの推奨レベルが高い(A) 介入 (Blank et al., 2019)

- 神経運動課題トレーニング (Neuromotor Task Training; NTT)
- 日常作業遂行における認知的オリエンテーション (The Cognitive Orientation to daily Occupational Performance; CO-OP)

The Cognitive Orientation to daily Occupational Performance (CO-OP)

- 子どもが選んだ課題の達成を目指す
例:ブランコの立ち漕ぎができるようになりたい
- 認知的に戦略を子どもが見出すように導く
例:ブランコの揺れに合わせて膝を伸ばすと勢いづく
- 汎化、転移(transfer)を目指す
例:前にジャンプをする際に腕の振りを使う

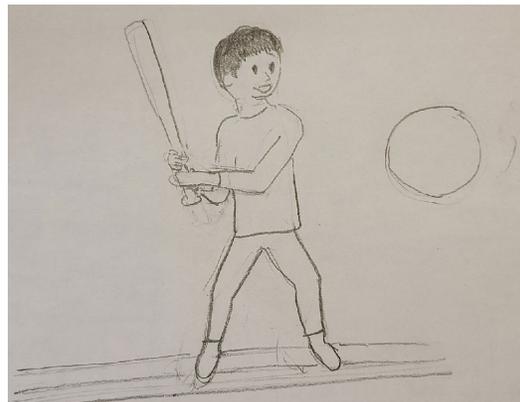
(Polatajko, 2004)

学校や療育場面などでの取り組み

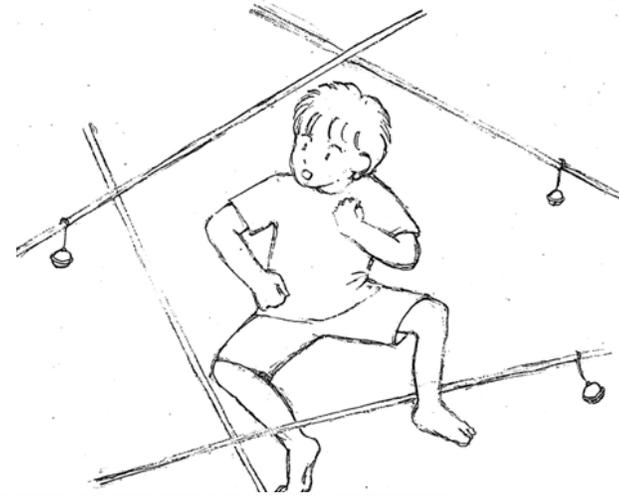
- ・姿勢、筋緊張、筋力を高める



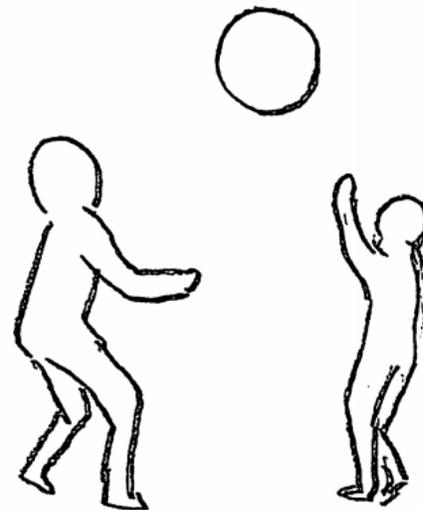
- ・バランスを育てる
- ・体のひねりをたくさんやってもらう
- ・平均台の上からの魚釣り遊び、輪投げ



- 運動企画力を育てるために不慣れな動きをやってもらう、
自己の身体の位置や動きを意識する活動を取り入れてみる



目と手、目と足の協調活動



2人組の活動

- 相手の身体の動きをイメージして力の微調整



認知作業トレーニング (宮口, 2014)



- <https://cog-tr.net/cogtr/cogot/>

小グループ活動



日常生活における工夫

日常生活で必要な操作を練習してもらったり、スモールステップで獲得できるように工夫する

最初



少しできるようになったら



できるようになったら



少し切り込みを入れておき、
自分であけてもらう



お菓子などをびんに入れて
つまむ動きを誘発する

生活動作の設定を子どもに合わせて やってもらう

例: ボタンを留める練習



大きなボタン

大きな穴

ボタンの糸足を長くする

緩やかな大きめの服

最初は穴を広げ入れやすく

親が途中まで誘導

バックワード・チェイニング

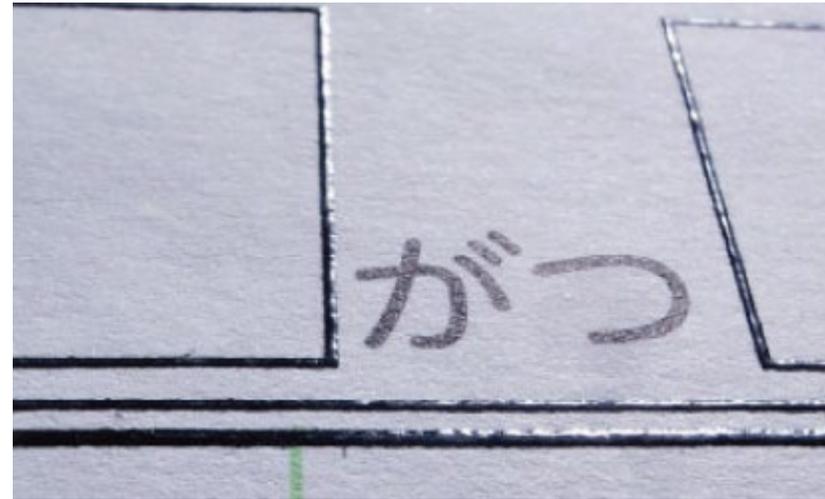
子どもを取り巻く人に伝えていること

- 不器用は発達的特性であることを理解する
- 苦手な運動は個別に教える
- 運動の予習（最初が難しい）
- 体操やダンスを教える際には、予めやり方やコツをわかりやすく説明する
- 身体の動かし方を「右手、左手」「砂をすくうように」など言語化し教える
- やり方の手順を絵・写真で示す
- 視覚的または触覚的指標を用意する

不器用への対応グッズ

- 滑らない定規(ゴムQ)
- ゴムマット(ゴムQ)
- 鉛筆ホルダー





発達が気になる子への

凹凸書字

教材シート

シリーズ **全8種類**

鴨下賢一先生監修 オフィスサニー

眼球運動が苦手で読み飛ばし、行とばしがある子ども

ひまわりの育て方

種まきは、4月から6月にかけて行います。培養土などの土を小さいビニールの鉢に入れ、2から3粒ずつの種子を土に指で1cmから1.5cmの穴を2、3個あけ、その中に押し込むようにし、土をかけます。小さい

週に一回から二回与えます。与えすぎると大きなりすぎるので注意して下さい。ようすが変だなと思ったら、園芸店のスペシャリストに症状を

まとめ

- 学齢期におけるDCD児者への理解と支援は重要である
- 課題を実施してもらった介入法の有効性が確認されている
- 治療や療育場面だけでなく、普段の学校や家庭での支援が不可欠である